

今別町勢要覽

2022





目次 —contents—

ごあいさつ.....	1
町のランドマーク奥津軽いまべつ駅.....	2
特集1 第一次産業の振興.....	4
特集2 町民の健康を守る.....	5
特集3 日本一小さい新幹線のまち.....	6
特集4 絶景の景勝地.....	7
青森県無形民俗文化財郷土芸能「荒馬」…	8
フェンシングのまち いまべつの歩み.....	10
今別町の春夏秋冬.....	12
今別町の特産品.....	14
町の主要施設.....	16
今別町のデータ.....	18
議会.....	26

思いは一つ、町民の幸せ

ごあいさつ

～発刊にあたって～

今別町長

中嶋 久彰



今別町は、津軽半島の北端部に位置し津軽海峡に面した青函トンネル本州側の出入口の町です。半楕円状形状の当町の地形は、気候にも大きく影響し、冬期間は降雪も多く青森県内でも屈指の豪雪の町ですが、四方が山や川、海に囲まれ、四季を通して景色が美しく、自然環境に恵まれ、一次産業を中心に発展してまいりました。

町勢要覧は平成14年以来20年ぶりの発刊となりますが、その間、当町を取り巻く社会環境は、急激な速さと大きさで変化し、特に少子高齢化・人口減少に歯止めがかからない状況となっており、高齢化率では十数年連続で県下一であります。

また、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の発生は、私たちの危機管理意識の考え方を一変させるものでした。

平成28年3月に北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」が開業し、町では、観光等の受入強化を図り、特に「いまべつ牛」や「津軽半島今別サーモン」などの町特産品のブランド化に努めてまいりました。

生活様式や価値観の多様化など、町は変化し続けておりますが、引き続き町の目指す将来像の実現に向け、町民の皆様との連携により、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

この町勢要覧は、先人たちや町民の皆様によって築き上げられた今別町の姿を映し出したものです。

皆様には、この要覧を通じて、今別町に少しでも関心を深めていただければ、幸甚に存じます。



町の花：き く

町の木：ヒ バ

町の鳥：かもめ

町章は、「今別」という文字を図案化したもので、「今」を円形で囲み、「別」は清く正しい協和を目指す町民の意思を表すとともに、青函トンネルを通して本州と北海道を結ぶ鉄道、自動車道、人道の三道を表現したものです。青函トンネルの入り口の町、今別らしいデザインになっています。



町のランドマーク 奥津軽いまべつ駅

平成28年3月26日、二股地区に北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」が開業しました。

奥津軽いまべつ駅は旅客運送における停車駅としての役割のほか、青函トンネル内で非常事態が起こった場合の避難駅、保守拠点としての役割を持ちます。

町では新幹線や津軽線などで通学する高校生や大学生、通勤に利用する今別町民に定期代の半額助成を行っており、新幹線が身近で利用しやすくなるような取り組みを行っています。

奥津軽いまべつ駅 ⇄ 津軽中里駅 予約制乗合タクシー



津軽半島南部や、世界文化遺産である北海道・北東北の縄文遺跡群「大平山元遺跡」へのアクセスにはこの乗合タクシーがおすすめです。

詳細は乗合タクシーウェブサイトをご覧ください。か、道の駅いまべつまでご連絡ください。

道の駅 いまべつ

乗合タクシー専用番号

TEL: 0174-31-0205
(9:00~17:00)



▲乗合タクシー
ウェブサイト

特集1 第一次産業の振興

黒毛和牛いまべつ牛 いのしし肉 一球入魂かぼちゃ 津軽半島今別サーモン どれをとっても「おいしい」

今別町の特産品である黒毛和牛「いまべつ牛」は、公益社団法人日本食肉格付協会が実施している格付けで「A5ランク」をつけられたことがあるほど品質が良い牛肉です。流通量が少なく、「まぼろしの和牛」と呼ばれています。

いのしし肉は町内唯一のいのしし畜産農家の高齢化もあり、事業の継続が危ぶまれていましたが、近年、県外から1ターンをした男性が事業を引き継ぎ、事業の拡大を図っています。

一球入魂かぼちゃは、令和3年2月現在、1軒の栽培農家が作付けしています。1株に1個だけしか実らせない栽培方法は通常のかぼちゃよりも手間がかかる

ため大変ですが、その苦労に見合うだけの甘さが特徴です。

津軽半島今別サーモンは、国内のサーモン養殖場では初となるASC認証※を取得し、世界的にも安全性が高いと評価されました。令和2年度からは試験養殖から本格販売に移行され、県内外へ出荷されています。

※ASC認証

ASC（水産養殖管理協議会）の認証制度。「自然環境の汚染や資源の過剰利用の防止に加え、労働者や地域住民との誠実関係構築」を認証するもの。「責任ある養殖水産物」であることの証明。



程よくサシが入ったいまべつ牛



特集2 町民の健康を守る

今別町は健康福祉増進の町。様々な角度から健康を支援します。

「みんないきいき健康長寿奥津軽いまべつタウンを目指す町」と掲げているように、今別町は福祉施策を推進しています。子育て関連施策としては「出産祝金」「おむつ購入費助成」「新生児誕生記念品」「保育料・副食費無償化」のほかに「高校卒業までの医療費助成」等の政策を実施しています。また、高齢者世帯・障害者世帯には「配食サービス」を行っており、管理栄養士の監修のもと、栄養バランスの良い食事を提供しています。

さらに住民健診については健診費用の無償化を図り、健診を受診しやすい環境整備により、病気の早期発見に努めています。

当町の高齢化率は53.7%(令和3年8月時点)で、2人に1人は65歳以上の高齢者となっています。さらに今別町は平成17年から現在まで高齢化率が県内一であり、令和7年には、いわゆる団塊の世代がすべて高齢者となり、高齢化率が一層上昇することが見込まれて

います。過疎対策・少子化対策と並んで高齢化対策が急務となっています。

その一方で各町内会では「いきいき百歳体操」で体を動かしたり、今別町老人クラブでは「ふれあい福祉スポーツ大会」を開催したりすることで、スポーツ等による健康増進を図っています。



いきいき百歳体操を楽しむ姿



特集 3 日本一小さい新幹線のまち

新幹線駅がある町としては
日本最小※。
だからこそ出来ることがあります。

※自治体の規模として

平成28年3月26日に開業した北海道新幹線奥津軽いまべつ駅がある今別町は、日本全国を見ても新幹線駅がある町としては最小となっています。開業後は「R北海道と連携し「奥津軽いまべつ駅おもてなしイベント」として駅舎内でジャズライブ、伝統芸能、芝居など様々なイベントを開催し、駅の利用促進や地域の活性化を図っています。このように新幹線駅舎内でイベントを行う事例は全国的に見てもかなり珍しく、他の自治体にはない強みとなっています。

また、年に1回奥津軽いまべつ駅を利用した人に2,000円を補助（今別町民が対象）したり園児や児童を対象に「一日駅長体験」を実施することで地域間交流を促進したりするなど、様々な角度から駅の利用促進をしています。



クリスマスイベントとして開催したジャズライブ



落語の披露も新幹線駅舎内で開催しました



特集4 絶景の景勝地

海を越えて見えるは北海道。
眺めても遊んでも楽しめます。

津軽国定公園褒月海岸「高野崎」は県内でも有数の景勝地です。晴れた日には海を越えて北海道の渡島半島が見え、光を反射した青い海が景色を彩ります。階段を下っていくと見えるのは潮騒橋と渚橋。さらに橋を越えていくと岩盤と見渡す限りの海が広がります。その景観の良さから、夏には多くの家族連れやキャンプ客で賑わう、町内屈指の観光地です。

また、今別町には青函トンネルの入口があり、トンネルの入口周辺は「青函トンネル入口広場」として整備されています。この広場には展望台が設置されているため、新幹線がトンネルを出入りする様子が撮影できる絶好の撮影スポットとなっています。

さらに、展望台に立つと遠くに海を望むことができ、絶景を眺めるスポットとしてもオススメです。



高野崎のシンボルである灯台の
向こうに見える北海道



新幹線を間近で撮影することができます

青森県無形民俗文化財

荒馬（あらま）

元々は田植えが終わり、田の神が天に昇るとき、農民が神に加護と感謝のため催される「神送り」「サナブリ」の行事として行われていました。現代では町の夏祭り「荒馬まつり」で踊られており、祭りの時期（8月上旬）は町内を練り歩き、町を一層盛り上げます。

この荒馬は全国的にも珍しい男女一對の踊りとなっており、勇壮な馬役の男性と華麗な手綱取りの女性が特徴です。それ故に荒馬がきっかけで結婚する男女がいるなど、縁結びにも一役買っています。

また、約20年前には県外の大学生が今別町を訪れ、荒馬を学んで帰りましたが、現在でも毎年県外の大学生（OB・OG含む）等200人以上が荒馬まつりに訪れ、地元住民と一緒に跳ね回ります。

最近では荒馬以外でも交流があるなど「関係人口」として、町や地域を盛り上げています。



郷土芸能「荒馬」

今別荒馬

(いまべつあらま)

ねぶたは坂上田村麻呂が蝦夷征伐の折、敵をおびき寄せる手段として使ったとも、凱旋の喜びを祝って行ったとも言われています。今別荒馬はその蝦夷討伐の時に活躍した騎馬の労苦の様を現すものであるとも言われています。「太刀振り」とともに尚武の精神を鼓舞する行事であるとも言われています。

※由来については諸説あります。



大川平荒馬

(おおかわだいあらま)

大川平荒馬は、天正13年頃大浦為信が津軽を統一して藩の経済を保つため、馬と農耕とを結び付けて作物の増収を図ったことが起因であろうとされています。それまで未開の山野であった土地を汗とほこりにまみれながら、数少ない馬を頼

りとして馬とともに切り拓いてきた農民達にとって馬は宝であり、そうして苦勞をともにしてきた馬の働きと、勇壮な馬の姿を表し踊り継がれてきたのが現在の大川平荒馬であると言われています。



二股荒馬

(ふたまたあらま)

二股荒馬は、大川平荒馬同様夏の夜を彩るねぶたとしてともに古くは江戸時代より伝承され、今日まで引き継がれています。一般的に大川平荒馬と同じとされ、大川平地区からの分家となった頃からと伝えられています。

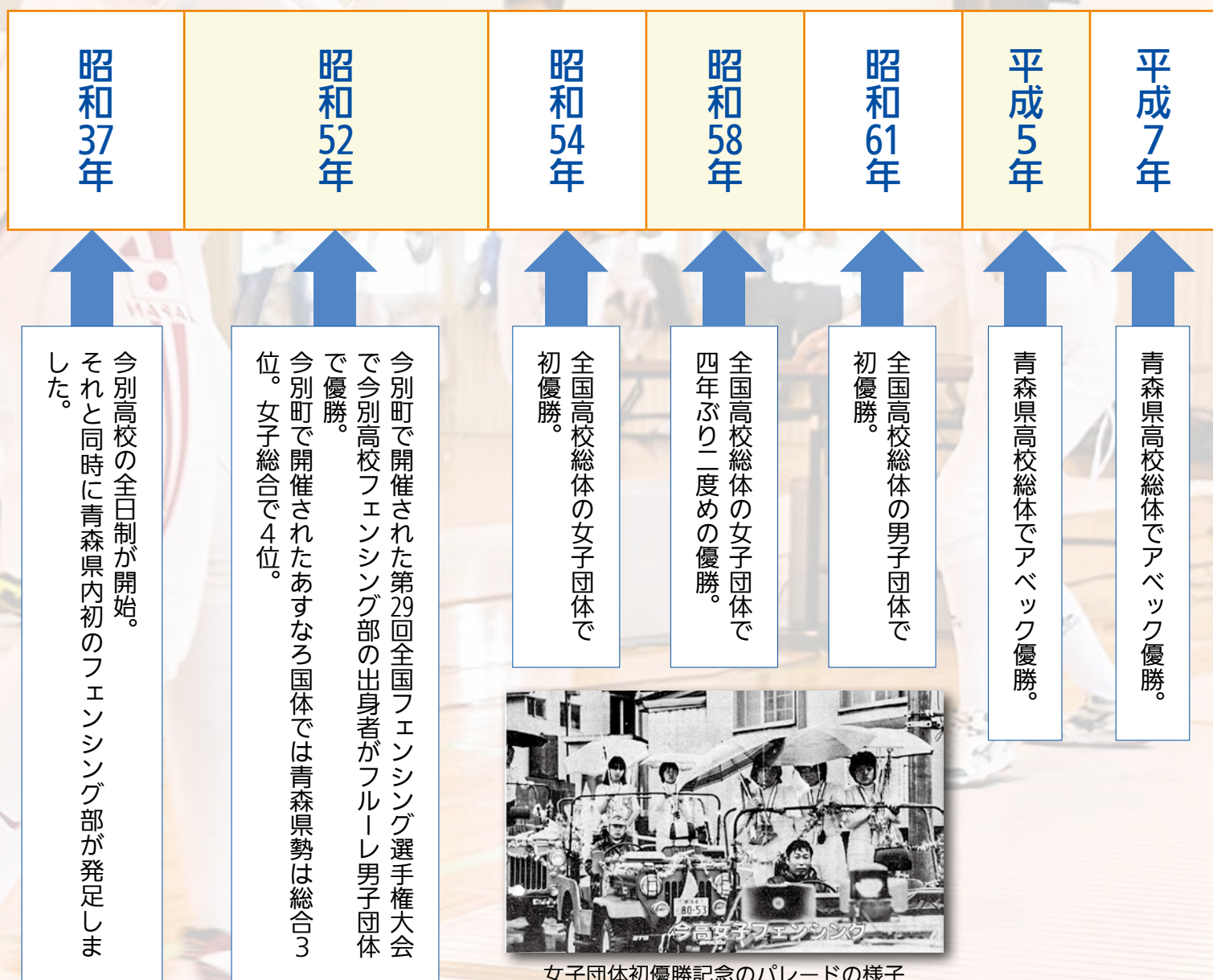
二股の荒馬は、田植えが終わり、稲や野菜、家畜に虫がつかないように祈る「虫送り」の行事のときに田や畑、地区内で踊られたと伝えられています。



フェンシングのまち いまべつの歩み

フェンシングのまちと呼ばれるようになったのは、昭和37年に青森県内で初めてフェンシング部を設立した青森北高校今別校舎（旧今別高校）の華々しい活躍のお陰です。

令和4年3月で閉校となってしまいましたがそれまでの59年間の活躍を年表にまとめました。



女子団体初優勝記念のパレードの様子



今別校舎の体育館でモンゴルのフェンシングチームが練習したこともあり、オリンピックの事前合宿地にもなりました。



平成13年

平成23年

平成27年

令和2年

全国高校総体の男子団体で優勝。
宮城国体の男子団体で初優勝。

青森県高校総体の男子団体で17連覇。



全国高校総体出場メンバー

コロナ禍で高校総体は開催できなかったが、代替大会で今別校舎フェンシング部の選手がフルレとエペで2冠達成。



2冠を達成した福原くん



海峡さざなみ公園は町内有数の桜の名所。例年行われている「海峡いまべつ春まつり」には、お花見を楽しむために多くの人々が訪れます。

海峡いまべつ春まつり

今別の春

今別の夏

荒馬まつり



今別町の伝統芸能である荒馬をメインとした「荒馬まつり」は、毎年県外から200人以上の人々が「荒馬」を跳ねに訪れます。町と県外の交流人口・関係人口を繋ぐ、今別町には欠かせない祭りです。



秋は「いまべつ秋まつり」。
町内団体の出店や宴会などで盛り上がります。
また、サツマイモの詰め放題なども行われています。

いまべつ秋まつり

今別の秋

今別の冬

いまべつ冬のリヒト



いまべつ冬のリヒト実行委員会が主催する冬の行事。
「リヒト＝光」のとおり、雪面に輝く綺麗な光やレク
リエーションで参加者を楽しませます。

今別町の特産品



いまべつ牛

脂がたっぷりのった至高の黒毛和牛。一度噛みだすと、口の中に肉汁が溢れ出し、その感覚は病みつきになります。

もずくうどん

今別町の特産品であるもずく。津軽海峡の荒波にもまれたもずくを練り込んだ麺は、つるつる。その独特な食感に完食待ったなしです。



一球入魂かぼちゃ

1株に1個だけしか実らせない栽培方法により、甘さがギュッと凝縮された高級かぼちゃ。その名のとおり一球入魂されたかぼちゃは絶品です。

あづべ汁

今別町の山で穫れた山菜をふんだんに使ったあづべ汁。昔懐かしい郷土料理に安心感すら覚えます。





ウニ

津軽海峡で育ったミネラル分豊富な海藻を食べて育ったウニは身がたっぷり詰まっており、町内で「ウニまつり」が開催されるほどの人気となっています。

いのしし肉

肉の臭みが全く無く、脂の旨味はそのままにあっさりとしたお肉。煮込めば煮込むほど柔らかくなり、お肉の本来の美味しさが味わえます。



津軽半島 今別サーモン

今別町沖で養殖されているサーモン。津軽海峡で育ったサーモンは脂乗りがよく、味も絶品です。

焼干灰わかめ

生わかめの葉の部分燃える藁の火に直接かけ、灰をもみ込んだ後天日干しして乾燥させたわかめ。灰が付着することで、鮮やかな緑色、歯ごたえ、香りが持続するのが特徴です。



今別八幡宮 4

今別八幡宮 4



高野山観音（津軽三十三観音二十番札所） 2



本覚寺大仏 5



本覺寺青銅塔婆 3



正行寺 6

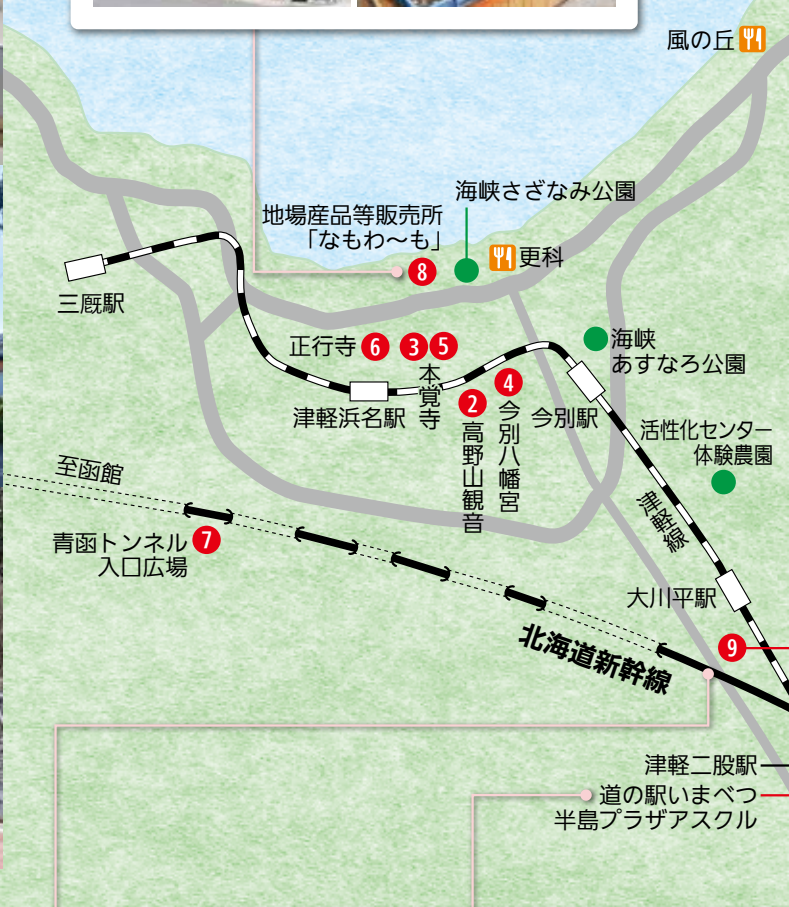


青函トンネル入口広場 7

**おすすめ
スポット**

荒馬の里資料館

**おすすめ
スポット**



11 道の駅いまべつ半島プラザアスクル

物産コーナー

物産コナナ



レストラン

① 鋳釜崎キャンプ場

おすすめ
スポット

褒月海岸に面した芝生が美しいキャンプ場。磯遊び・釣りの名スポット。「鬼の形のトイレ」が目印です。

⑱ 潮騒橋と渚橋（高野崎）

おすすめ
スポット

高野崎灯台から岩場を結ぶ「潮騒橋」と「渚橋」。ゴツゴツとした岩場で釣りや磯遊びが楽しめます。

高野崎灯台 ⑭ 潮騒橋・渚橋 ⑲ 高野崎キャンプ場／展望「いさりび」

褒月海岸

⑬ 海峡の家ほろづき

②① 高木恭造文学碑

②② 褒月海雲洞

①⑥ 赤根沢の

②⑦ だるま滝

①⑤ 岩屋観音堂

⑲ 高野崎キャンプ場

おすすめ
スポット

晴れた日には竜飛岬、下北半島、遠くは北海道まで望める高野崎。



⑫ いまべつ総合体育館

施設内は縦27メートル、横35メートルのアリーナがあり、バスケットボールや卓球、バドミントンやフットサル等、多種多様な競技が可能であり、その他、トレーニングルームや会議室、宿泊施設等もありスポーツ以外でのご利用も可能となっております。



荒馬の里資料館

⑫ いまべつ総合体育館

⑩ 北海道新幹線 奥津軽いまべつ駅

⑪ いち唐どう

⑭ 高野崎灯台

⑮ 岩屋観音堂（津軽三十三観音二十一番札所）

①⑥ 赤根沢の赤岩

①⑦ 褒月海岸

⑱ 潮騒橋と渚橋

⑲ 高野崎「展望いさりび」

②⑦ だるま滝

②① 高木恭造文学碑

②② 褒月海雲洞釈迦堂（津軽三十三観音二十一番札所）

奥津軽いまべつ駅 ⑩

道の駅いまべつ半島プラザアスクル ⑪

⑬ 学校に泊まろうよ！ 海峡の家ほろづき

高野崎から歩いて5分ほどの小高い丘にある、木造校舎の温もりが今も残る「海峡の家ほろづき」。廃校になった中学校の校舎を宿泊施設として利用しており、整った設備での自炊や体験学習、レクリエーションに最適です。お風呂は炭酸カルシウム人工温泉となっております。



【位置】

北 緯		東 経	海 抜
41° 10' 54.5"		140° 28' 54"	10.7m
広 ば う		近 隣 市 町 村	
東 西	南 北	東	西
17km	14km	外ヶ浜町蟹田	外ヶ浜町三厩

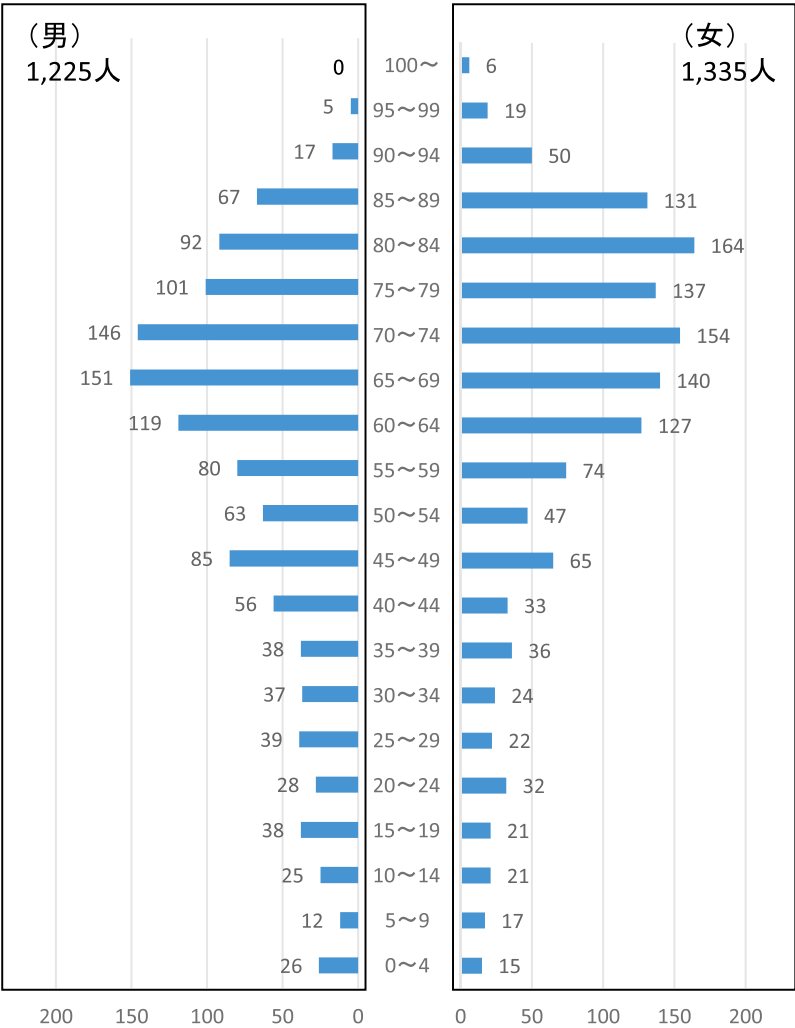
【土地利用】 参考資料：令和2年度固定資産概要調書

区分	総面積	田	畑	宅地	牧場
面積 (km ²)	125.27	5.75	2.83	1.13	0.78
比率 (%)	100.0	4.6	2.3	0.9	0.6
区分	山林	原野	雑種地	その他	
面積 (km ²)	17.32	5.00	0.90	91.56	
比率 (%)	13.8	4.0	0.7	73.1	

※その他は国有林等、町の山林でないものが多く含まれています。



【年齢・男女別人口構成比】 令和2年4月1日現在



【人口および世帯数の推移】

	人口			世帯数
	総数	男	女	
平成7	4,737	2,174	2,563	1,649
平成12	4,124	1,899	2,225	1,556
平成17	3,816	1,777	2,039	1,476
平成22	3,217	1,483	1,734	1,379
平成23	3,406	1,592	1,814	1,572
平成24	3,288	1,534	1,754	1,543
平成25	3,175	1,482	1,693	1,545
平成26	3,074	1,452	1,622	1,527
平成27	2,756	1,293	1,463	1,277
平成28	2,888	1,367	1,521	1,485
平成29	2,803	1,335	1,468	1,467
平成30	2,711	1,288	1,423	1,441
令和元	2,642	1,264	1,378	1,426
令和2	2,560	1,225	1,335	1,417

参考資料

【年齢・男女別人口構成比】

住民基本台帳（令和2年4月1日現在）

【人口および世帯数の推移】

平成7年～22年・27年 国勢調査

平成22年以降（27年を除く） 住民基本台帳

【産業別事業所・従事者数】 参考資料：平成18年は事業所・企業統計調査、平成24年以降は経済センサス-活動調査

産業分類	事業所数			従業者数			備考
	平成18年	平成24年	平成28年	平成18年	平成24年	平成28年	
農 業 ・ 林 業 ・ 漁 業	3	4	3	14	12	10	「-」部分はその年の事業所・企業統計調査、経済センサスではその項目がなかったもの。他項目との統合や細分等がされています。
建 設 業	33	31	29	133	202	218	
製 造 業	7	5	7	94	22	17	
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	0	4	0	0	
運 輸 業 ・ 郵 便 業	5	5	1	29	22	3	
卸 売 ・ 小 売 業	61	47	40	184	157	106	
金 融 ・ 保 険 業	2	2	1	12	15	5	
不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸 業	1	3	3	1	13	3	
学術研究、専門・技術サービス業	-	3	1	-	4	2	
宿泊業、飲食サービス業	23	17	16	56	42	39	
生活関連サービス業、娯楽業	-	23	18	-	32	26	
教 育 ・ 学 習 支 援	7	1	0	59	1	0	
医 療 ・ 福 祉	6	4	4	104	129	142	
複 合 サ ー ビ ス 業	6	3	4	41	12	26	
サービス業(他に分類されないもの)	50	12	12	108	39	33	
公務(他に分類されないもの)	6	-	-	95	-	-	
総 数	211	160	139	934	702	630	

【産業別就業者の推移】 参考資料：国勢調査

産業別		年次	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	備考
第一次産業	農 業		324	126	129	131	75	「-」部分はその年の国勢調査ではその項目がなかったもの。他項目との統合や細分等がされています。
	林 業		99	68	25	108	63	
	漁 業		163	121	152	105	70	
第二次産業	建 設 業		455	411	331	247	246	
	製 造 業		338	238	172	111	76	
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業		6	13	5	1	1	
	運 輸 業 ・ 郵 便 業		-	-	-	56	32	
	運 輸 業		90	55	52	-	-	
	情 報 通 信 業		-	-	2	1	0	
	卸 売 ・ 小 売 業		257	164	170	145	118	
	金 融 ・ 保 険 業		17	16	19	7	7	
	不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸 業		0	0	0	2	2	
	サ ー ビ ス 業		366	415	-	-	-	
	宿泊業・飲食サービス業		-	-	58	55	50	
	学術研究、専門・技術サービス業		-	-	-	-	7	
	生活関連サービス業、娯楽業		-	-	-	33	33	
	教 育 ・ 学 習 支 援		-	-	50	43	30	
	医 療 ・ 福 祉		-	-	140	163	176	
	複 合 サ ー ビ ス 業		-	-	40	23	22	
	サービス業(他に分類されないもの)		-	-	98	52	48	
	公務(他に分類されないもの)		118	120	110	101	83	
	分 類 不 能 の 職 業		14	3	4	1	5	

【国民年金加入状況】（単位：人）

区分 年度	1号	3号	任意
H27	342	67	4
H28	316	62	3
H29	270	60	1
H30	253	49	1
R元	224	47	1
R2	232	40	1

【国民年金受給状況】（令和2年度）

区分 年度	受給者数	年間総支給額 (千円)	一人平均支給額 (千円)
老齢年金	2,383	1,178,084	494
障害年金	102	85,596	839
遺族年金	235	95,920	408
寡婦年金	3	1,235	411

【国民健康保険状況】

区分 年度	加入の状況（3月末）						収入の状況			
	町 世帯数	国保 世帯数	加入率	町人口	国保 被保険	加入率	保険税 (千円)	補助金等 (千円)	計 (千円)	一人当り 保険税(円)
H27	1,501	627	41.8	2,965	951	32.1	77,205	500,612	577,817	195
H28	1,481	602	40.6	2,885	890	30.8	68,723	471,890	540,613	187
H29	1,465	577	39.3	2,803	828	29.5	70,752	438,612	509,364	172
H30	1,438	557	38.7	2,710	800	29.5	64,690	387,256	451,946	167
R元	1,419	522	36.8	2,636	748	28.4	59,632	323,976	383,608	146
R2	1,392	514	36.9	2,454	714	29.1	57,746	340,740	398,486	162

【健(検)診状況】

区分		年度	H28	H29	H30	R元	R2
特定健診 (国保のみ)	対象者数		711	761	695	605	518
	受診者数		235	236	246	235	212
	受診率		33.1%	31.0%	35.4%	38.8%	41.1%
胃がん	対象者数		1,248	921	866	799	1,093
	受診者数		138	169	176	147	151
	受診率		11.1%	18.3%	20.3%	18.4%	13.8%
大腸がん	対象者数		1,248	1,157	1,100	1,039	1,297
	受診者数		184	222	168	169	233
	受診率		14.8%	19.2%	15.3%	16.3%	18%
肺がん	対象者数		1,248	1,157	1,100	1,039	1,297
	受診者数		210	193	198	184	253
	受診率		16.8%	16.7%	18.0%	17.7%	19.5%
子宮がん	対象者数		643	656	632	598	719
	受診者数		112	135	155	155	138
	受診率		17.4%	20.6%	24.5%	25.9%	19.2%
乳がん	対象者数		588	546	521	486	617
	受診者数		67	130	165	170	149
	受診率		13.9%	23.8%	31.7%	35.0%	24.1%

【水道】

年度	区分	給水		
		戸数	人口	普及率
上水道		1,244	2,412	98.28%

資料：産業建設課

【下水道】

年度	区分	排水			
		戸数	人口	普及率	加入率
合併浄化槽		302	1,291	50.40%	21.30%

資料：町民福祉課

【道路・橋りょう状況】

種別	路線数・延長(m)		整備済延長(m)		未整備延長(m)		整備率(%)		橋りょう(m)			
	路線数	延長	改良	舗装	未改良	舗装	改良	舗装	永久橋		木橋	
									箇所数	延長	箇所数	延長
1級町道	16	18,348.1	14,839.1	14,839.1	3,509.0	0	80.8	80.8	13	183.9	0	0
2級町道	6	10,696.5	5,677.4	5,677.4	5,019.1	4,217.0	53.0	92.5	3	90.6	0	0
その他町道	153	43,648.8	14,563.7	14,563.7	29,085.1	9,871.6	33.3	55.9	24	378.7	0	0
計	175	72,693.4	35,080.2	35,080.2	37,613.2	14,088.6	48.2	67.6	40	653.2	0	0

資料：産業建設課

【火災発生状況】

年度	区分	発生件数					損害額(円)
		計	建物	山林等	車両・船舶	その他	
H27		2	0	1	1	0	151,000
H28		1	0	0	1	0	160,000
H29		4	3	0	1	0	4,636,000
H30		0	0	0	0	0	0
R元		2	0	1	0	1	878,000
R2		0	0	0	0	0	0

資料：青森中央消防署

【消防施設状況】

年度	区分	消防団			消火栓	防火水槽 40t未満	防火水槽 40t以上
		団員	分団数	ポンプ数			
H27		165	12	13	102	7	46
H28		161	12	13	102	7	46
H29		154	12	13	102	7	47
H30		147	11	13	102	7	49
R元		137	11	13	102	7	49
R2		143	11	13	102	7	49

【小学校】

(令和2年度実績)

区分 学校名	児童・生徒数	教職員数	学級数
今別小学校	36	14	5
今別中学校	34	15	5

【ふれあい文庫の蔵書数と利用状況】

(令和2年度実績)

	入館者	貸出(人)	貸出冊数
4月	229	75	221
5月	168	59	152
6月	207	76	209
7月	236	80	225
8月	192	72	210
9月	237	78	206
10月	235	81	184
11月	240	97	242
12月	238	76	205
1月	196	61	185
2月	309	92	258
3月	302	103	289
合計	2,789	950	2,586
平均	232	79	216

【社会教育関係団体】

(令和2年度実績)

区分 団体名	団体数	会員数
婦人会	2	48
公民分館	11	75
老人クラブ	16	318
P T A	2	70
スポーツ協会	4	134

【いまべつ総合体育館利用状況】

区分 月別	H30				R元				R2			
	アリーナ	トレーニング室	会議室	宿泊	アリーナ	トレーニング室	会議室	宿泊	アリーナ	トレーニング室	会議室	宿泊
4月					215	23	0	22	0	0	0	0
5月					275	31	0	28	106	7	0	0
6月					631	8	0	92	361	11	16	62
7月	1,348	55	0	51	695	15	0	61	387	10	0	42
8月	562	50	0	151	286	24	13	127	544	3	6	13
9月	1,193	36	0	15	897	40	0	94	467	4	0	56
10月	222	37	10	17	285	65	14	159	323	12	0	49
11月	748	9	7	120	656	31	0	84	435	9	0	33
12月	252	4	6	65	447	28	16	25	330	12	0	80
1月	136	6	13	12	287	19	34	40	178	17	36	51
2月	296	5	24	49	470	16	0	15	465	28	0	60
3月	451	28	8	127	160	9	0	21	352	24	0	5
合計	5,208	230	68	607	5,304	309	124	768	3,948	137	58	451

【令和2年度一般会計当初予算】

●歳 入●

科 目	予算額(千円)	構成比(%)
1. 町 税	309,575	11.6
2. 地 方 譲 与 税	20,075	0.8
3. 利 子 割 交 付 金	258	0.0
4. 配 当 割 交 付 金	261	0.0
5. 株式譲渡所得割交付金	214	0.0
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	1,153	0.0
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	63,687	2.4
8. 環 境 性 能 割 交 付 金	1,757	0.1
9. 地 方 特 例 交 付 金	589	0.0
10. 地 方 交 付 税	1,244,214	46.6
11. 交通安全対策特別交付金	1	0.0
12. 分 担 金 及 び 負 担 金	2	0.0
13. 使 用 料 及 び 手 数 料	24,348	0.9
14. 国 庫 支 出 金	314,351	11.8
15. 県 支 出 金	172,797	6.5
16. 財 産 収 入	6,390	0.2
17. 寄 附 金	9,001	0.3
18. 繰 入 金	234,102	8.8
19. 繰 越 金	1	0.0
20. 諸 収 入	38,782	1.5
21. 町 債	227,800	8.5
計	2,669,358	100.0

●歳 出●

科 目	予算額(千円)	構成比(%)
1. 議 会 費	42,529	1.6
2. 総 務 費	486,647	18.2
3. 民 生 費	601,128	22.5
4. 衛 生 費	223,139	8.4
5. 労 働 費	12	0.0
6. 農 林 水 産 業 費	171,511	6.4
7. 商 工 費	83,983	3.1
8. 土 木 費	405,046	15.2
9. 消 防 費	167,291	6.3
10. 教 育 費	184,139	6.9
11. 災 害 復 旧 費	37	0.0
12. 公 債 費	285,587	10.7
13. 諸 支 出 金	13,309	0.5
14. 予 備 費	5,000	0.2
計	2,669,358	100.0

【町税の推移】

(単位：千円)

税別 \ 区分	H28	H29	H30	R 元	R 2
町 民 税	75,006	89,540	72,712	73,376	65,465
固 定 資 産 税	137,813	237,963	232,143	243,646	323,582
軽 自 動 車 税	7,408	7,283	7,425	7,431	7,706
町 た ば こ 税	21,089	19,746	17,652	17,938	17,413
計	241,316	354,532	329,932	342,391	414,166

【一般会計決算状況】

●歳 入●

(単位：千円)

項目 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 元	R 2
町 税	212,667	241,316	354,532	329,932	342,391	414,166
地 方 譲 与 税	19,041	17,198	17,285	17,305	18,545	19,496
利 子 割 交 付 金	282	208	317	268	137	131
配 当 割 交 付 金	524	260	339	253	324	276
株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	366	131	303	205	179	322
法 人 事 業 税 交 付 金						1,145
地 方 消 費 税 交 付 金	52,226	44,800	43,483	46,699	44,024	54,795
自 動 車 取 得 税 交 付 金	3,232	3,411	4,633	4,246	2,622	
環 境 性 能 割 交 付 金					551	1,132
地 方 特 例 交 付 金	133	184	166	275	1,267	952
地 方 交 付 税	1,612,471	1,568,435	1,462,676	1,423,459	1,439,097	1,494,579
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	0	0	0	0	0	0
分 担 金 及 び 負 担 金	2,798	178	0	0	0	0
使 用 料 及 び 手 数 料	18,033	19,662	23,221	23,155	23,721	19,523
国 庫 支 出 金	307,797	356,934	537,872	430,860	265,887	649,957
県 支 出 金	145,192	125,462	121,417	120,608	129,625	144,327
財 産 収 入	13,412	12,316	6,392	7,078	7,372	6,530
寄 附 金	576	5,389	8,961	11,775	8,546	14,683
繰 入 金	207,619	135,054	163,858	230,344	351,050	307,443
繰 越 金	57,329	63,774	94,236	73,401	62,627	223,100
諸 収 入	54,188	61,287	88,249	48,007	38,767	67,855
町 債	359,761	272,087	383,087	419,303	538,134	402,456
計	3,067,647	2,928,086	3,311,027	3,187,173	3,274,866	3,822,868

●歳 出●

(単位：千円)

項目 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 元	R 2
議 会 費	49,561	47,490	48,587	48,738	38,609	42,280
総 務 費	779,833	592,539	947,498	940,366	511,654	799,791
民 生 費	561,028	572,648	560,018	556,983	587,946	590,350
衛 生 費	184,275	173,230	167,243	163,238	170,071	222,960
労 働 費	10	10	10	10	10	10
農 林 水 産 業 費	112,138	132,900	207,475	160,748	172,394	193,507
商 工 費	133,893	108,913	118,342	81,889	152,310	82,259
土 木 費	144,722	372,048	261,435	229,008	268,296	369,589
消 防 費	155,371	163,779	186,876	228,423	447,615	479,566
教 育 費	288,795	140,875	179,669	156,527	169,088	177,126
災 害 復 旧 費	14	2	24	0	1,101	2
公 債 費	319,947	314,291	318,559	308,569	288,113	279,548
諸 支 出 金	215,286	142,125	185,889	187,048	170,559	423,127
予 備 費	0	0	0	0	0	0
計	2,944,873	2,760,850	3,181,625	3,061,547	2,977,766	3,660,115

【特別会計決算状況】

●歳 入●

(単位：千円)

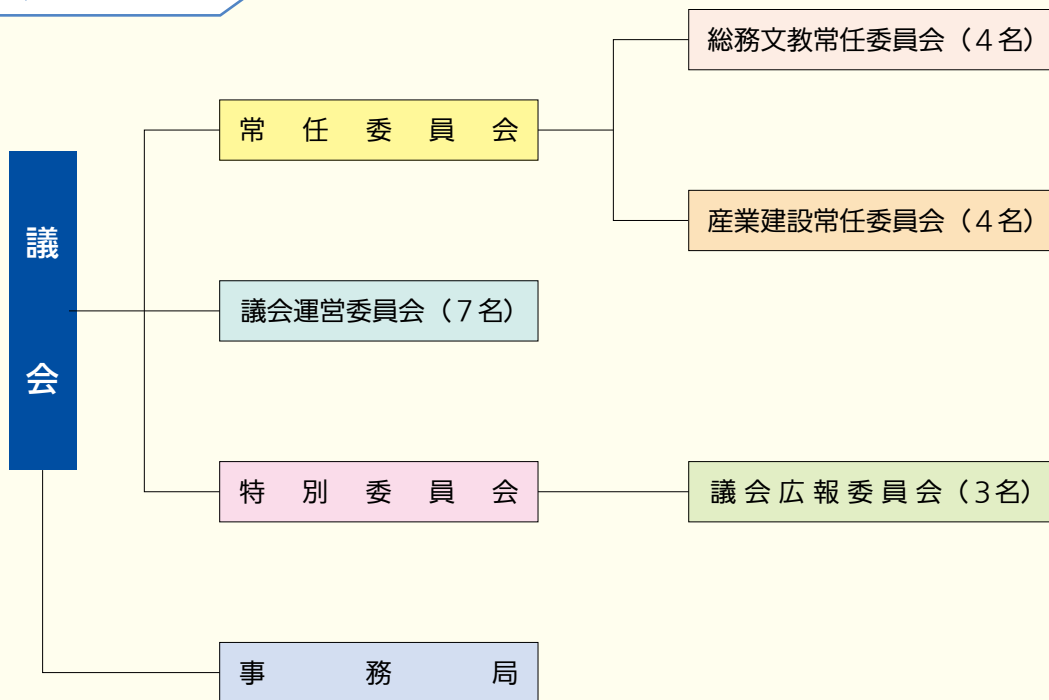
項目 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 元	R 2
国 民 健 康 保 険 (事業勘定)	577,817	540,612	509,364	451,946	383,608	398,486
国 民 健 康 保 険 (診療施設勘定)	196,863	171,513	109,022	139,253	130,533	133,233
後 期 高 齢 者 医 療	54,054	49,137	49,402	42,568	47,507	50,562
介 護 保 険 (保健事業勘定)	509,058	522,850	525,558	500,169	517,666	526,213
介 護 保 険 (介護サービス事業勘定)	22,494	23,422	24,045	23,598	23,655	23,658
簡 易 水 道 事 業	589,918	453,232	139,442	142,410	101,092	139,213
道 の 駅 事 業	102,311	126,186	129,043	15,788	0	0
計	2,052,518	1,886,952	1,485,876	1,315,732	1,204,061	1,271,365

●歳 出●

(単位：千円)

項目 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 元	R 2
国 民 健 康 保 険 (事業勘定)	541,431	506,586	468,805	425,711	354,808	379,022
国 民 健 康 保 険 (診療施設勘定)	193,295	159,029	105,976	134,191	122,406	121,063
後 期 高 齢 者 医 療	52,975	48,385	49,065	42,115	47,505	49,619
介 護 保 険 (保健事業勘定)	493,049	478,121	493,676	499,697	510,165	514,772
介 護 保 険 (介護サービス事業勘定)	18,222	18,532	18,967	18,924	18,949	18,806
簡 易 水 道 事 業	584,893	430,991	112,880	136,856	98,327	135,958
道 の 駅 事 業	97,121	116,569	113,255	15,788	0	0
計	1,980,986	1,758,213	1,362,624	1,273,282	1,152,160	1,219,240

議会の構成



【議員名簿】 (定数7名)

職名	議席番号	年齢	当選回数	氏名
議長	6	64	4	本郷良克
副議長	3	51	2	田中哲也
議員	1	37	1	本間闘士
議員	2	67	2	太田英一
議員	4	66	2	小倉潤二
議員	5	69	2	成田精市
議員	7	73	5	福士和比古

(任期：令和2年3月31日～令和6年3月30日)

【特別委員会】

職名	議会広報委員会
委員長	本間闘士
副委員長	太田英一
委員	小倉潤二

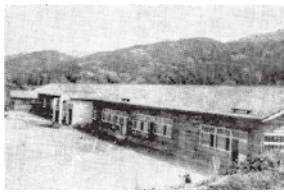
【議会運営委員会及び常任委員会】

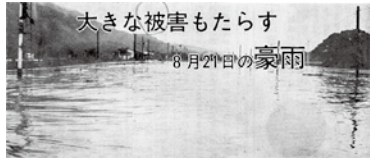
職名	議会運営委員会	総務文教常任委員会	産業建設常任委員会
委員長	福士和比古	成田精市	田中哲也
副委員長	小倉潤二	福士和比古	小倉潤二
委員	本間闘士	小倉潤二	太田英一
委員	太田英一	本間闘士	成田精市
委員	田中哲也		
委員	成田精市		
委員	本郷良克		

年表編

(1955—2022)

年 表 (1955—1969)

西暦	年号	主な出来事
1955	昭和30	・今別村と一本木村が合併、今別町発足。 ・町長職務執行者に今別村長中嶋久吉氏就任。 ・初代町長に中井芳二郎氏当選。 ・赤根沢の赤岩が青森県天然記念物に指定。 ・広報「いまべつ」第1号発刊。 ・大字今別火災（4戸焼失）。  現在も変わらず佇む 赤根沢の赤岩
1956	昭和31	・婁月中学校校歌制定。 ・第1回町議会議員選挙。 ・第1回農業委員選挙（無投票）。 ・今別中学校と第一一本木中学校が統合して今別中学校が開校。 ・赤川砂防指定となる。 ・地方財政再建団体に指定。 ・今別橋永久橋架替工事竣工、渡り初め式。 ・今別保育所委託開設。  建設当時の 今別保育所
1957	昭和32	・今別高等学校が県立となる。
1958	昭和33	・大泊小学校と婁月小学校が統合して大泊小学校が開校。 ・津軽線が三厩まで開通。
1959	昭和34	・第2回農業委員選挙（無投票）。 ・今別町簡易水道竣工。 ・町議会にて今別中学校と今別小学校をそれぞれ校地を分けて建設することに決定する。 ・町長に中嶋久吉氏当選。 ・本覚寺の青銅塔婆が県重要文化財に指定。 ・今別小学校校舎現在地に落成。  県重要文化財として 親しまれている 青銅塔婆
1960	昭和35	・今別中学校移転授業開始。 ・第2回町議会議員選挙。 ・大川平小学校の学区変更により鍋田地区の全児童が今別小学校に転出。 ・奥平部小学校と砂ヶ森小学校が統合して開智小学校が発足。 ・新町建設計画を策定。 ・津軽浜名駅設置。  開智小学校 設立当時
1961	昭和36	・建設省の海岸保全区域に奥平部、綱不知地区及び村元、大泊地区が指定される。

西暦	年号	主な出来事
1962	昭和37	・第3回農業委員選挙（無投票）。 ・県立今別高等学校全日制となる。 ・スポーツ振興審議会設置。
1963	昭和38	・丸山元三郎氏町長に当選。 ・一本木漁港が砂ヶ森地区局部改良事業着手。 ・大川平小学校現在地に校舎落成移転。  現在荒馬の里 資料館として利 用されている大 川平小学校
1964	昭和39	・今別町納税貯蓄組合連合会結成。 ・第3回町議会議員選挙。 ・二股小学校校舎落成。 ・一本木診療所を開業医に貸与したため直診廃止。 ・青函トンネル工事本州側竜飛調査坑の着工修ばつ式。 ・今別町中央公民館落成。  今別中央公民館 落成当時
1965	昭和40	・第4回農業委員選挙（無投票）。 ・一本木支所移転新築。 ・町章制定
1966	昭和41	・高野崎灯台に初点灯。 ・今別町史発行。 ・今別小学校と第一一本木小学校を統合して一本木小学校を今別小学校第二校舎と呼称。
1967	昭和42	・大字今別火災（18戸焼失）。 ・今別町連合子供会世話人連絡協議会発足。 ・国土調査開始 ・今別小学校特殊学級設置。 ・丸山元三郎氏無投票当選（町長選挙）。
1968	昭和43	・第4回町議会議員選挙。 ・第5回農業委員選挙。 ・今別町東部漁業協同組合発足。 ・今別中学校学校林植栽（4,000本）。 ・豪雨により水田・住宅等到大被害（172mm）。 ・今別町簡易水道を上水道とする工事に着工。（給水区域、大川平・鍋田・山崎・浜名に拡充）。 ・今別小学校第二校舎児童全員本校舎に移転。 ・今別町国民年金納付組織連合会発足（25組合）。  豪雨被害により 水田に水没した
1969	昭和44	・今別・三厩地区環境整備事務組合設立。 ・今別町上水道工事竣工。 ・一本木診療所医師転出により閉鎖。 ・第1期振興山村に指定（第500号）。

年 表 (1970—1979)

西暦	年号	主な出来事
1970	昭和45	・米の生産調整が始まる（減反）。 ・県道中里、今別、蟹田線中、青森～三厩間国道280号線に昇格。 ・今別町西部漁業協同組合発足。 ・今別町商工会館竣工。 ・青森県防災無線開局。 ・尖岳にサテライト局竣工、開局記念式典。 ・今別・三厩地区環境整備事務組合、し尿センター竣工。 ・大川平由四良地区放牧場完成。
1971	昭和46	・有線放送施設完成。 ・第6回農業委員選挙。 ・青森地域広域市町村圏協議会発足。 ・丸山惇氏町長に当選。 ・県へき地における学校保健指定校として研究発表（開智小、大泊小、婁月中）。 ・青函トンネル本坑工事起工式（竜飛）。 ・第二鍋田開拓パイロット事業完了し、除幕式を開く。  青函トンネル本坑工事起工式の様子
1972	昭和47	・上磯農業協同組合発足。 ・第5回町議会議員選挙。 ・大泊地区簡易水道工事竣工。 ・町民憲章制定。 ・青函トンネル本工事共同企業体起工式。 ・青森地域広域事務組合中央消防署今別分署が開所。
1973	昭和48	・70歳以上の老人に医療費の10割給付実施（老人保健法制定）。 ・いわゆり保育園開園。 ・一本木診療所再開。 ・今別・三厩地区環境整備事務組合ゴミ焼却施設竣工。 ・電話が自動ダイヤル化。  いわゆり保育園が開園
1974	昭和49	・今別電話局開局。 ・第1回町民スキー大会。 ・第7回農業委員選挙。 ・今別町スポーツ少年団本部発足。 ・今別営林診療所を買収（今別診療所開設）。 ・青函トンネル浜名工区起工式。 ・町立今別体育館竣工。  町民スキー大会第1回

西暦	年号	主な出来事
1975	昭和50	・老人憩の家竣工。 ・津軽国定公園に婁月海岸編入。 ・丸山惇氏町長に無投票当選。 ・集中豪雨により水田や住宅などに大被害。
1976	昭和51	・国道280号線バイパス今別工区完成。 ・第6回町議会議員選挙。 ・今別診療所新築落成式。 ・大川平保育園開園。 ・開智小学校創立100周年記念式典挙行。 ・第2期振興山村に指定（第500号変1）。 ・今別町町民憲章推進協議会設立。 ・今別小学校創立100周年記念式典挙行。 ・津軽なかやまライン開通式。 ・青函トンネル浜名工区貫通。  青函トンネル浜名工区が貫通
1977	昭和52	・第8回農業委員選挙。 ・第29回全日本フェンシング選手権大会を町立今別体育館で開催。 ・第1回今別町褒賞授与式行われる。 ・あすなろ国体フェンシング競技を町立今別体育館で開催。 ・二股地区簡易水道工事竣工。 ・二股へき地保健福祉館竣工。 ・高波により一本木海岸64メートル決壊。 ・あすなろ橋竣工。  あすなろ国体では日本一を果たした
1978	昭和53	・広報無線施設完成。 ・今別町文化団体連絡協議会結成。 ・大川平小学校100周年記念式典挙行。
1979	昭和54	・国道280号の婁月地区の道路拡幅完了（460m）。 ・合併により東地方農業共済組合発足。 ・特別豪雪地帯に指定される。 ・中嶋久吉氏町長に当選。 ・今別町内水面漁協設立。 ・台風11号くずれの寒冷前線の通過により、当町で160mmの降雨量を記録。 ・第6回東北総合体育大会等を町立今別体育館で開催。 ・全国高校総体フェンシング女子団体が今別高校初優勝。 ・第1回町民駅伝大会。 ・今別町上水道拡張工事竣工。 ・今別町開発センター竣工。  第1回町民駅伝大会力走が光った

年 表 (1980—1987)

西暦	年号	主な出来事
1980	昭和55	・今別荒馬、大川平荒馬、銀杏の木、町の文化財に指定。 ・第7回町議会議員選挙。 ・第9回農業委員選挙。 ・今別町内水面漁協でサケの稚魚100万尾放流。 ・今別町生活簡素化推進協議会結成。 ・冷害対策本部発足。 ・高潮による山崎地区海岸護岸決壊。 ・町政施行25周年記念式典。 ・「青森今別会」設立。
1981	昭和56	・豪雪対策本部設置（最深積雪133cm）。 ・今別町商工会の創立20周年記念と商工会館新築落成記念式典。 ・町立特別養護老人ホーム「なかやま荘」開設。 ・津軽国定公園奥月海岸が国鉄の周遊指定地に。 ・今別町観光協会発足。 ・第1回今別町黒毛和種検討会と試食会開催。  なかやま荘完成当時
1982	昭和57	・大泊地区簡易水道拡張工事が完成し、東部地区全域に給水。 ・豪雪対策本部設置（最深積雪90cm）。 ・第3期振興山村に指定（第500号変2）。 ・今別保育園新築移転開園。 ・津軽海峡線工事の実施計画が、運輸大臣から認可。 ・東京フィルハーモニー交響楽団の演奏会開催。 ・第1回今別町社会福祉大会開催。 ・津軽海峡線着工祝賀会と町民コミュニティパーティーを開く。 ・新今別橋竣工。 ・高野崎に町営テニスコート完成。 ・砂ヶ森地区に多目的集会施設完成。  津軽海峡線着工は盛大に祝われた
1983	昭和58	・今別小学校で給食開始。 ・青函トンネル先進導坑貫通。 ・第10回農業委員選挙。 ・丸山惇氏町長に当選。 ・アワビ幼稚仔保育場が完成し、アワビの放流（東部漁協管内）。 ・日本海中部地震発生。被害を受ける。 ・青函トンネルスラブ製造工場操業。 ・全国高校総体フェンシング女子団体で、今別高校が4年ぶり2度目の優勝。 ・第32回県青年大会が上磯地区5町村で開かれる。 ・第1回むつ湾一周駅伝大会で、当町は町の部で24位。  日本海中部地震では今別も被害を受けた

西暦	年号	主な出来事
1984	昭和59	・豪雪対策本部設置。（これまでの最深積雪150cmを記録2/29）。 ・第8回町議会議員選挙。 ・津軽海峡線の本州側取付部にできる9トンネルのうち、第一今別、第二今別の両トンネルと部分貫通した津軽トンネル母沢・二股工区の3トンネルで貫通式。 ・ふれあいの森林造成事業を記念して植林を行う（東大川平山国有林で3,000本）。 ・日独スポーツ同時交流開催。 ・国道280号今別バイパス（山崎工区）開通式。 ・上磯内の電話の局番変わる（今別35局・奥月36局）。  第一今別、第二今別、津軽トンネル母沢・二股工区で貫通式
1985	昭和60	・第1回青年の船に当町から3名参加。 ・内水面漁協でサケを567匹捕獲。 ・青函トンネル本坑貫通。 ・町政が施行され、30年を迎える。 ・中嶋久吉氏町長に当選。  青函トンネル本坑貫通、発破は当時の山下徳夫運輸大臣
1986	昭和61	・第11回農業委員選挙。 ・第1回今別町福祉スポーツ大会開催。 ・県青年の船東青ブロック「サマーフェスティバル」高野崎開催。 ・全国高校総体フェンシング男子団体で今別高校初優勝。 ・今別川河川公園整備事業で八幡町地区に河川公園完成。 ・第二次今別町総合計画基本構想案が答申される。  今別高校フェンシング部、結成以来24年目の快挙
1987	昭和62	・第2回青年の船に当町から2名参加。 ・第二次今別町総合計画基本計画（61～65年度）案が答申される。 ・山村広場にテニスコート・ゲートボール場が完成。 ・県埋蔵文化財調査センターによる浜名・二ツ石遺跡発掘調査着手。 ・津軽海峡線・津軽今別駅建設決定。 ・津軽今別駅管理協力会設立。

年 表 (1988—1994)

西暦	年号	主な出来事
1988	昭和63	・第1回今別町文化賞に鳴海四郎氏。 ・今別営林署統合で増川営林署今別営林事務所。 ・第9回町議会議員選挙。 ・津軽海峡線・津軽今別駅同時開業。 ・第1回東北・北海道フェンシング競技会が町立体育館において開催される。 ・「今別の夢を語り合うシンポジウム」が町開発センターで行われる。 ・いわゆり保育園廃止、褒月地区福祉館に。 ・今別高校新校舎完成。 ・高野崎に高木恭造文学碑完成。 ・今別八幡宮自然観察教育林完成。 ・NTT今別電報電話局が廃止。 ・銚釜崎に吉田松陰の石碑建立。 ・今別高校と町が初の合同文化祭。  町文化賞に鳴海四郎さん 今別おけさ 生みの親  鳴海四郎さん 第1回今別町文化賞に は今別おけさ生みの親 鳴海四郎さん
1989	平成元	・第12回農業委員選挙。 ・高野崎に休憩所「展望いさりび」がオープン。 ・第3回東北・北海道フェンシング競技会が町立今別体育館において開催。 ・国道280号今別バイパス（浜名～増川間）開通。 ・第3回県青年の船に当町から3名の参加。 ・熊谷範一氏町長に当選。 ・第1回町民スポーツ祭（駅伝・ソフトバレーボール・ゲートボール）が行われる。 ・関口地区浄水場完成。 ・今別・三厩地区環境整備事務組合理め立て処分施設完成。 ・荒馬交流10周年記念「みちのく座」来町し、町開発センターにおいて公演。 ・今別町営スキー場オープン（山崎）。  「展望 いさりび」 展望いさりびオープンにあたって、活性化グループ「いさりび会」も発足した
1990	平成2	・青森交通産業㈱青森工場操業。 ・今別中学校にフェンシング部設立。 ・新過疎法により当町も過疎地域に指定される。 ・役場・一本木支所・教育委員会・開発センター・なかやま荘・事務、第2・4土曜日の閉庁実施。 ・今別町交流活性化推進協議会設立。 ・今別町フェンシングスポーツ少年団結成。 ・北海道知内町と友好町締結記念式典（会場・知内町）。 ・東京・国技館で開催された「都市との山村交流フェア」に今別の荒馬出演。  知内町と友好町締結記念式典 知内町との交流は令和2年で30周年を迎えた

西暦	年号	主な出来事
1991	平成3	・今別・三厩地区環境整備事務組合から青森地域広域「今別地区衛生センター」へ名称変更。 ・津軽今別駅前広場完成。 ・町出身者による「ラブ・いまべつ会」発足。 ・町立特別養護老人ホーム「なかやま荘」創立10周年記念。 ・「陽っこあだね村cup争奪戦」ふるさととの夜景、高野崎で開催。 ・台風19号、本県を直撃。当町は住宅屋根一部破損にとどまる。 ・(有)小峯電機今別工場操業。 ・ラブ・いまべつ会「第1回ふるさと交流集会」東京都渋谷区の万葉会館で開催。 ・第二次今別町総合計画後期基本計画案（平成3年～平成7年度）答申される。 ・当町が交通死亡事故ゼロ2,000日達成。 ・第5回東北・北海道フェンシング競技会が町立今別体育館において開催される。
1992	平成4	・清酒「荒馬」発売。町新年会で披露目。 ・第10回町議会議員選挙。 ・第13回農業委員選挙（無投票）。 ・「荒馬の里づくり検討委員会」町民13人を委嘱し、設置。 ・第5回全国少年フェンシング大会を町立今別体育館で開催。 ・今別荒馬が「世田谷区民まつり」に参加。 ・今別産業まつりと津軽海峡9町村商工会合同物産展が開発センターで開催。 ・今別町町民憲章制定20周年記念大会開催。 ・青森朝日放送サテライト局開局。
1993	平成5	・青森地方法務局今別出張所が蟹田出張所と統合になる。 ・褒月中学校閉校。 ・褒月中学校と今別中学校の統合による今別中学校開校。 ・交通死亡事故ゼロ2,500日達成。 ・役場完全週休2日制になる。 ・青函トンネル広場完成オープン。 ・第1回荒馬の里健康マラソン開催。 ・県高校総体フェンシング団体戦アベック優勝。（6年ぶり10回目）。 ・冷害対策本部設置。 ・熊谷範一氏無投票当選（2期目）。 ・今別町営スキー場完成オープン。  青函トンネル入口 広場がオープン、 当時は青函夢った という名前だった
1994	平成6	・豪雪対策本部設置（最深積雪103cm）。 ・第1回スノーフェスタ開催。 ・第18回全国高等学校選抜フェンシング大会（町立今別体育館）。 ・「眺海の森林」のケビンハウスオープン（7棟）。 ・交通死亡事故ゼロ3,000日達成。 ・前線に伴う大雨で農地や施設に被害。 ・後期過疎地域活性化計画策定（平成7年～11年）。 ・給食宅配サービス（ひとり暮らし高齢者等を対象）。 ・高野崎「展望いさりび」増築完成。  ケビンハウス には多くの観 光客が宿泊し た

年 表 (1995－2001)

西暦	年号	主な出来事
1995	平成 7	- 豪雪対策本部設置（最深積雪110cm）。 - 青森県知事選挙。 - 第14回農業委員選挙（無投票）。 - 町議会議員補欠選挙。 「眺海の森林」の体験交流センターとパターゴルフ場完成（18ホール）。 - 県高校総体団体戦フェンシングアベック優勝。 - 海峡の家「ほろづき」オープン。今別町観光協会が再発足。 - 今別町町政施行40周年。 - 公共施設記念式典。 - 名誉町民第1号坂本慶一氏（福井県立福井大学学長）。 - 今別町フェンシングスポーツ少年団が初の韓国遠征。  名誉町民第一号の 坂本慶一さん
1996	平成 8	- 交通死亡事故ゼロ3,500日達成。 - 第31回青森県クラブ対抗スキー大会。 - 第10回マスターズスキー選手権大会開催（町営今別スキー場）。 - 第11回町議会議員選挙。 - 町消防団が全国表彰（消防庁長官表彰）。 - 木材工芸等加工施設「あらま木工所」完成。 - 第三次今別町総合計画策定（平成8年～17年度）。 - 町婦人防火クラブ全国婦人消防操法大会出場（北海道東北ブロック1位）。  町消防団が全国表彰を 受賞した時の様子
1997	平成 9	- 町に初の外国語指導助手（ALT）が就任。 - 半島ぶらざアスкулオープン。 - 交通死亡事故ゼロ4,000日達成。 - 半島ぶらざアスкулが「道の駅いまべつ」に登録。 - 今別川河川公園「海峡あすなろ公園」完成。 - 熊谷範一氏町長当選（3期目）。  町の観光情報や津軽半島北 部の情報発信基地として期 待され、オープンしたアス クル
1998	平成10	- 第15回町農業委員選挙。 - 全国町村会会長から今別町に優良町村表彰授与。 - 北海道新幹線「奥津軽駅」（仮称）を公表。 - 津軽海峡線開通及び津軽今別駅開業10周年記念イベント。 - 大川平保育園が今別保育園に統合。 - 老人福祉サービス施設「ひより」オープン。

西暦	年号	主な出来事
1998	平成10	- 学校給食センター完成。管内小中学校給食開始。 - 北海道新幹線「奥津軽駅」（仮称）設置決定及び公共施設落成式典。 - 県立今別高等学校50周年記念式典。 - ラブ・いまべつ会交流会（東京）。 - 文化観光立県宣言あおり大祭典に大川平荒馬出演（東京ドーム）。 - 神奈川県横浜高校創始者、故 黒土四郎氏（奥平部出身）二人目の名誉町民に決定。  名誉町民第二号の 黒土四郎さん
1999	平成11	- 地域振興券交付。 - 町行政改革大綱を改定。 - 一本木支所廃止。 - 日独スポーツ少年団同時交流。
2000	平成12	- 第12回町議会議員選挙。 - 県道今別蟹田線小国峠付近道路崩壊。 - 第三セクター「株式会社津軽半島エコエネ」設立。 - 過疎地域自立促進特別措置法により過疎地域に指定。 - 青森地域広域事務組合今別斎場「てんしょう苑」火入れ式 - 今別小、大泊小、開智小学校対等統合により新生今別小学校開校。 - 交通死亡事故ゼロ1,000日達成。 - 荒馬の里体験農園、荒馬の里活性化センターオープン。 - 青森今別会20周年記念式典（青森市）。 - 今別、大川平荒馬保存会が青森ねぶたに参加。 - 今別町過疎地域自立促進計画（前期）を策定。 - 当町でフェンシングスポーツ少年団日韓フェンシング交流。  青森ねぶた祭りに 「今別町の荒馬」出陣
2001	平成13	- 第16回町農業委員選挙。 - 友好町締結10周年、今別・知内交流スキー大会。 - 今別町巡回バス運行開始。 - 二股小学校50周年記念式典。 - 全国高校総体フェンシング競技男子団体で今別高校優勝。 - 小鹿正義氏町長に当選。 - 宮城国体フェンシング競技にて今別高校男子団体初優勝。 「眺海の森林」で第2回青森県育樹祭及び津軽海峡9町村合同物産展開催。  知内町と友好町締結10周年 雪上綱引きなどが行われた

年 表 (2002－2009)

西暦	年号	主な出来事
2002	平成14	- 患者バス廃止により巡回バス全町運行。 - 交通死亡事故ゼロ継続5年達成。 - 県高校総体フェンシング競技において今別高校男女団体アベック優勝。 - 知内・今別町友好町締結記念交流会。 「住民基本台帳ネットワークシステム」スタート。 - 今別中学校と婁月中学校統合10周年。 - 今別物語編集同好会による「いまべつ物語」出版。 - ラブ・いまべつ会東京交流会（東京都）。 - ゴミの有料化（収集日変更、指定ゴミ袋使用等）。  嶋中賢一編集長 「いまべつ物語」を持つ
2003	平成15	- 交通死亡事故ゼロ2,000日達成。 - いまべつ野菜の会による町初めての越冬野菜「寒じめちぢみほうれん草」初出荷。 - 二股小学校閉校。 「今別町の荒馬」（今別、大川平、二股）青森県無形民俗文化財に指定。 - 県高校総体、東北総体フェンシング競技今別高校男女アベック優勝。 - 今別物語編集同好会「いまべつ物語」第2巻出版。 - 今別物語編集同好会「いまべつ物語」第3巻出版。 - 今別町農作物冷害対策本部設置。 - ラブ・いまべつ会東京交流会。  指定書を受け取る 小鹿町長と各荒馬 保存会会長。
2004	平成16	- 大川平小学校閉校。 - 第13回町議会議員選挙。 - 第17回町農業委員選挙。 - 上磯地区ストックヤード（山崎）営業開始。 - いまべつ野菜の会「ケーキ飾り用イチゴ」初出荷。 「荒馬の里資料館」（旧大川平小学校）オープン。 - 荒馬の里体験農園「オーナー制度」開始。 - ラブ・いまべつ会東京交流会。 - 北海道新幹線青森～新函館間2005年度着工決定。  「荒馬の里資料館」の前で 挨拶をする嶋中卓爾館長
2005	平成17	- 北海道新幹線着工決定。県、町民が待ち望んだ北海道新幹線が青函トンネル調査開始から59年にして着工が決まる。 - 町政施行50周年と北海道知内町との友好町締結15周年を記念し、式典を行う。

西暦	年号	主な出来事
2005	平成17	- 今別保育園が民営化され新たにスタート。 「海峡の家ほろつき」で昭和30年度婁月中学校卒業第1期生の同窓会を行う。  今別町 町制施行50周年記念式典 今別町・知内町友好町締結15周年記念式典 友好町締結十五周年 記念式典
2006	平成18	- 広報いまべつが500号を迎える。昭和30年11月1日に創刊号が発行されてから50年。 - 青森県立今別高等学校が創立60周年を記念し、10月6日、同校で記念式典が開催される。昭和23年に青森工業高校分校として発足、昭和27年10月1日以来、上磯地域唯一の高校として、これまでに6,000人以上の卒業生を送り出してきた。発展、躍進し続けてきた県立今別高等学校も平成19年3月で幕を下ろすことになり、4月から県立青森北高校今別校舎としてスタート。
2007	平成19	- 第18回町農業委員選挙。 - 平成18年今別町文化賞・スポーツ賞授与式が開発センターで開催。 - 第31回全国高校選抜大会東北予選会が開催され、青森県代表として今別高校フェンシング部男子が出場。惜しくも2位だったが、5年連続全国選拔出場。 - 知内町スポーツセンターにおいて「青函バレーボール交流」が開催された。  交流を深めた後は、 みんなで記念写真 現在も続いている 青函バレーボール 交流
2008	平成20	- 竜飛今別漁協が誕生。竜飛漁協、今別町西部、東部漁協の3漁協が合併したもの。県から前年平成19年12月26日に合併認可指令書が交付された。 - 第14回町議会議員選挙。 - 津軽海峡線・津軽今別駅開業20周年、今別町東部・西部漁協・竜飛漁協合併記念「いまべつ秋まつり」開催。  大盛況のいまべつ 秋まつり
2009	平成21	- 今別町消防団鎮火祭が行われる。 10年に一度の稚児行列。 - 田中哲也さん「運動器の10年」世界運動キャンペーンとして、オーストラリア大陸障害者自転車横断（5,000キロ）に挑戦。  五十三日かけて 五千キロを走り 切りました 1本足での自転車走行 には皆が驚きました

年 表 (2010-2016)

西暦	年号	主な出来事
2010	平成22	- 第19回町農業委員選挙。 - 今別保育園で、こども赤十字登録式を行った。民営化してから初めての登録式。 - 東北新幹線全線開通と北海道新幹線の早期完成をPRするため、町民ふれあい文庫前に大型看板を設置。 - 友好町締結20周年を迎え、12月18日に知内町中央公民館で「知内・今別友好町締結20周年記念交流会」を開催。
2011	平成23	- 東日本大震災。今別町震度4。地震と同時に全面停電。東日本大震災の被災地へ今別小学校卒業生の保護者や町民の方々からランドセルを寄付。東日本大震災義援金が町民の皆さんから寄せられた。 - 北海道新幹線通信機器工事（仮称）奥津軽駅路盤等工事着工。 - 今別駅前にバス待機所完成。 - 今別小学校のホームページが全日本小学校ホームページコンテストの県代表に2年連続で選ばれる。 - 大川平加工グループが鍋コンテストで優勝（ジャガイモすいとん汁）。  津波を警戒して 交流センターに 避難する浜名地 区の住民
2012	平成24	- 第15回町議会議員選挙。 6年ぶりに豪雪対策本部設置。 「全日本小学校ホームページ大賞」今別小学校が総務大臣賞を受賞。 - 新青森駅での「はやぶさ」運行1周年記念イベントに大川平荒馬が出演。 - 北海道新幹線フォーラムinいまべつ開催。 5月から改修中だった今別診療所の外構工事も含めて9月に工事が完了。 - 全日本小学校ホームページ大賞の青森県代表に選ばれた今別小学校が3年連続出場。  ホームページを毎日更新していった様子
2013	平成25	- 第20回町農業委員選挙。 - 北海道新幹線奥津軽（仮称）駅開業対策アクションプラン公表、町民推進大会を開催。 - 北海道新幹線の駅名を「奥津軽いまべつ駅」とするようJR北海道へ要望。 8月13日で交通死亡事故ゼロ3年達成。 - 高木恭造詩碑建立除幕式。 - 八幡町集会所新築落成祝賀会。 - 町長選挙で阿部義治氏初当選。 2013東北復興大祭典なかのに参加。  高木恭造詩碑建立 除幕式の様子
2014	平成26	- いまべつ牛販売促進連絡会議が設置。 6月11日、JR北海道島田社長が駅名は町の要望どおり「奥津軽いまべつ駅」に決定したことを公表。6月13日には、役場前において除幕式を行った。

西暦	年号	主な出来事
2014	平成26	- 新幹線開業PRイベント実行委員会発足。 - 東北復興大祭典なかのに昨年に引き続き参加。 - 荒馬を題材にした恋愛物語の小説「青春の津軽海峡」（著者：阿部誠也氏）の出版会開催。 - 北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業500日前イベント自転車リレーを実施。 - 阿部町長が北海道木古内駅で行われた北海道新幹線レール締結式へ出席。 - 第23回ラブ・いまべつ会東京交流会が東京都上野の精養軒で開催。 - 北海道新幹線の車両（H5系）が青函トンネルを初めて通り、当町の奥津軽いまべつ駅へ初入線。  役場前の 除幕式 の様子
2015	平成27	- 荒馬ワールドカップを開発センターで開催。 - 町政施行60周年を迎える。 - 友好町締結25周年を迎え、6月14日に開発センターで「知内・今別友好町締結25周年式典」が開催された。 - 今別町開発センターで「町政施行60周年、今別・知内友好町締結記念式典」開催。 「いまべつ荒馬の会」が考案した「荒馬の酒」3種類が完成。 - いきいき健康まつり・健康宣言大会において健康長寿のまちづくり宣言。 - 奥津軽いまべつ駅開業に向け町内を花で飾る「花いっぱい運動」を実施。 - 道の駅いまべつリニューアルオープン。 「奥津軽いまべつ駅からサイクリング」実施。 11年ぶりに町民ふれあい運動会が開催。 - 奥津軽いまべつ駅舎が完成。見学会などが開催される。 - 奥津軽いまべつ駅で成人式を開催。 12年ぶりに二股荒馬が復活。 - 荒馬の里田園マラソンを開催。 「今別町・モンゴルフェンシング協会2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する基本合意書調印式」を実施。
2016	平成28	- 第16回町議会議員選挙。 3月26日奥津軽いまべつ駅開業。26～27日にかけておもてなし祭りを開催。 - モンゴルジュニアフェンシングチームが当町で強化合宿。 - 俣番地銘石から荒馬を描いた記念碑、弘前市出身の画家福岡幸子氏から荒馬を描いた絵画が寄贈される。 - 今別中学校3年生が奥津軽いまべつ駅を利用して修学旅行へ。 - 奥津軽いまべつ駅開業記念「奥津軽周遊ライド」が開催される。 - 小中学校合同運動会が初めて開催される。 - 二股地区ほ場整備組合が発足。  奥津軽いまべつ駅 開業式典の様子

年 表 (2017—2022)

西暦	年号	主な出来事
2017	平成29	・モンゴルジュニアフェンシングチームが当町で強化合宿。 ・荒馬ワールドカップ2017開催。 ・奥津軽いまべつ駅開業1周年記念フォーラムが開催される。 ・鍋田地区の大ハリギリの木が町指定文化財に指定。 ・国際交流員（CIR）が就任。 ・町関係者や議員、漁協組合長らがデンマーク・サーモン養殖場へ視察研修。 ・体育施設・宿泊施設の建設工事が始まる。 ・中嶋久彰氏町長に当選。  樹齢約五百年の大ハリギリの木
2018	平成30	・豪雪により、今別町豪雪対策本部が設置される。 ・青函トンネル開業30周年。奥津軽いまべつ駅で記念イベントを開催。 ・モンゴルジュニアフェンシングチームが当町で強化合宿。 ・奥津軽いまべつ駅・津軽中里駅間バスの愛称が「あらま号」に決定する。 ・第3回東奥文化選奨に今別、大川平、二股荒馬保存会の3団体が受賞。 ・青森県高等学校フェンシング選手権大会で青森北高校今別校舎男子団体が5年ぶり30回目の優勝。 ・北海道電力株式会社今別ネットワークセンターが開所。 ・いまべつ総合体育館が落成。記念式典が開催される。 ・津軽線開業60周年。お手振りをを行う。 ・青森朝日放送主催の「第18回ふるさと自慢がまちCM大賞」で『アイディア賞』を受賞する。当町はこれが初の受賞。  いまべつ総合体育館 落成記念式典 フェンシングのオリンピックメダリストも参加した落成記念式典
2019	平成31 令和元	・北海道新幹線開業3周年、青函トンネル内最高時速が160kmに引き上げられたことを記念して記念祭を開催。 ・出産祝金条例施行後初の対象者へ目録と記念品が贈呈される。 ・いまべつ総合体育館落成1周年記念イベントを同体育館で開催。 ・東郡社会福祉大会が当町で開催。 ・第67回青森県少年防犯弁論大会西部大会において今別中学校の生徒が22年ぶり2回目の最優秀賞を受賞。 ・国税庁及び全国納税貯蓄組合連合会が主催する「税についての作文」コンテストにおいて今別中学校の生徒が青森税務署長賞・青森県納税貯蓄組合連合会奨励賞を受賞する。  出産祝金条例対象者第1号のご家族

西暦	年号	主な出来事
2020	令和2	・第17回町議会議員選挙。 ・東京オリンピック聖火リレーの青森県内ルートに当町が選出される。 ・町営住宅3号棟が完成。 ・新型コロナウイルス感染症が国内外で流行。当町では感染者は発生していないものの「海峽いまべつ春まつり」「荒馬まつり」「いまべつ秋まつり」が中止となる。 ・津軽半島今別サーモン町内流通に向け朝市を開催。 ・県主催の「少年の主張大会」において今別中学校の生徒が最優秀賞を受賞・全国大会へ推薦される。 ・今別町成人式が翌年に延期となる。
2021	令和3	・豪雪により、今別町豪雪対策本部が設置される。 ・前年度に引き続き「海峽いまべつ春まつり」「荒馬まつり」「いまべつ秋まつり」が中止となる。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、青森県で行われる公道での聖火リレーが中止。 ・北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業5周年を迎える。 ・高齢者や障がい者を対象に配食サービスを開始。 ・当町初の地域おこし協力隊が着任。 ・延期となった今別町成人式が開催される。 ・成人年齢の引き下げに伴い「20歳を祝う会」が開催される。 ・国際交流員（CIR）が離任。 ・町長選挙で中嶋久彰氏が2期目の当選。 ・青森北高校今別校舎閉校式が実施される。
2022	令和4 (2月まで)	・豪雪により、今別町豪雪対策本部が設置される。 ・今別町公民館が文部科学大臣から優良公民館として表彰される。 ・津軽半島今別サーモンが給食に並ぶ。



青森県今別町

発行日：令和4年3月

発行：青森県東津軽郡今別町

〒030-1502

青森県東津軽郡今別町大字今別字今別167番地

電話：0174-35-2001 FAX：0174-35-2298

制作・編集：今別町総務企画課



環境に配慮した植物油インキを使用しています